

コード	20202
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	住民ニーズに対応した公営住宅の充実
--------	-------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	ゆとりある住宅・住環境の整備

課コード	119	関係課名
主管課名	建築課	

基本事業の目的

地域の均衡ある発展や道路計画等の関連施設と連携を踏まえ良質な公営住宅の供給を促進するため、「公営住宅ストック計画」により若者から高齢者や障害のある方に安心して住むことができる公営住宅の整備を図ります。また、老朽化した公営住宅については、利用率、費用対効果を勘案し、平成21年度策定の「公営住宅建替基本構想」に基づき、多様な居住者のニーズに対応した安全、安心で快適な生活環境づくりを進めることを目的とします。

基本事業の成果

成果指標名称 1	公営住宅建替基本構想の策定	成果指標名称 2	公営住宅入居率
成果指標の積算根拠	1.0式	成果指標の積算根拠	入居戸数÷管理戸数
目標達成年度	平成22年度	目標達成年度	平成22年度
目標達成数値	100%	目標達成数値	87.1%

年 度			H18	H19	H20	H21	H22	
成果指標1	目標 A	単位	検討	検討	検討	1.0		
	実績 B		検討	検討	検討	1.0		
	達成率 B/A		%				100.0	
成果指標2	目標 A	単位	戸	358.0	358.0	358.0	358.0	346.0
	実績 B		戸	319.0	319.0	317.0	312.0	
	達成率 B/A		%	89.1	89.1	88.5	87.1	

1次評価	現状	公営住宅のうち昭和40年以前に建設された木造平屋住宅、昭和45年以前に建設された簡易耐火平屋住宅、また、昭和50年前後に建設された簡易耐火2階建住宅等について、老朽化の進行により改修整備や建替え等を必要とする住宅が多い中、厳しい財政状況下、必要最低限の維持的補修にとどめている。
	課題	耐用年数を超えた不良住宅ストックの解消や、既存住宅の建替えや改修など、住環境改善の取り組みは必要であるが、それには多大な費用を要する。
	改善	老朽化した公営住宅の改修整備や建替え及び統廃合について、公営住宅に対する需要や地域の実状などを踏まえ、多様化した町民ニーズを的確に捉え計画的に推進するとともに、引き続き、公営住宅の整備、適正管理に努める。

2次評価	耐用年数を超えた入居のできない不良住宅については、引き続き解体等の措置をとること。また公営住宅の整備においては、これからの島内住宅供給バランスなど十分考慮し、整備計画に基づいて計画的に実施していくこと。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。